

政治と経済

- ◆ 共産党が指導する社会主義共和国
- ◆ 1980年代後半から「ドイモイ（刷新）政策」を取り、市場経済の導入と対外開放政策を進めています
- ◆ 2000年～2010年の平均経済成長率は7.26%と高度成長の真っただ中にあります。

ベトナム 簡易年表

- 紀元前 207 南越国成立
- 紀元前 111 前漢、ベトナム北部に交趾郡
- 938 中国からの独立
- 1009 李王朝の成立。首都ハノイ
- 1804 フエを首都にしたグエン朝
- 1887 植民地化、フランス領インドシナ成立
- 1945 独立宣言、対仏独立戦争
- 1965 ベトナム戦争激化
- 1973 パリ和平協定、アメリカ軍撤退
- 1975 南北統一
- 1986 ドイモイ政策、改革開放路線に
- 1995 アメリカと国交正常化
- 1998 APEC 加盟
- 2006 WTO 世界貿易機関加盟

現在と未来のパートナーシップ

- ◆ 1994年のベトナム首相訪日以後、日越両国の関係緊密化が急速に進みました
- ◆ 2016年の対ベトナム直接投資額は21.6億ドルで国別では第3位となった。また、累積投資認可額では第2位。
- ◆ 在留邦人数：14,695人
日系企業数：1,602社（2016年10月現在）
- ◆ 在日ベトナム人数：180,174人
（2015年10月法務省在留外国人統計）
- ◆ 古くは漢字文化圏で宗教的にも日本に近いベトナムの人々の日本への関心は高く、日本への外国人留学生の出身国では中国に次ぎ第2位、2015年現在約4万人の留学生が日本で学んでおり、両国関係がますます深まっていくことは確実です。

主な産業

- ◆ 農業・水産業、鉱業
- ◆ 稲作が盛んで世界有数のコメ輸出国。主な農作物は他にコーヒー、キャッサバ、サツマイモ、サトウキビ、胡椒、カシューナッツ、天然ゴム、お茶など。
- ◆ エビやイカなどの水産物やそれらを加工した製品
- ◆ 石油やガス資源探鉱・開発には日本企業も参入

日本との歴史的関係

- ◆ 8世紀 遣唐使船の漂流により、当時のチャンパ王国や、中国領安南（ベトナム北部～中部）に日本人が訪問
- ◆ 16～17世紀 朱印船貿易の交易地として数百人の日本人が滞在し、日本人街を形成。日本からは主に銀・銅が輸出され、ベトナムからは絹・砂糖・香辛料等が輸入される。徳川幕府の鎖国政策の後オランダを窓口として交易は継続されていた。
- ◆ 1940年 第2次世界大戦中、日本は北部仏印に進出、同地を占領。1945年に連合国に降伏するまで日本軍はベトナムに駐留
- ◆ 1946～54年 日本敗戦、撤退後、フランスからの独立を目指し第1次インドシナ戦争が勃発。
- ◆ 1955～75年 ベトナム戦争（第2次インドシナ戦争）
- ◆ 1973年 日本と北ベトナム政府間で国交樹立で合意
- ◆ 1975年 サイゴン陥落、南北ベトナム統一
- ◆ 1980年代 カンボジア紛争を起因とした日本や西側諸国からの経済制裁により、ベトナムは国際的に孤立。
- ◆ 1991年 柬紛争終結、対ベトナム経済制裁解除
- ◆ 1995年 ベトナム ASEAN 加盟、米と国交回復
- ◆ 2003年 日越投資協定 調印
- ◆ 2006年 安倍首相 ベトナム訪問
- ◆ 2007年 グエン・ミン・チェット国家主席が国賓として初めて日本に招かれ、今上天皇・皇后と会談。ODAにより建設されたホーチミン市タンソンニャット国際空港国際線ターミナル開業
- ◆ 2009年 菅首相 ベトナム訪問
- ◆ 2013年 安倍首相 ベトナム訪問
- ◆ 2015年 グエン・スアン・フック・ベトナム社会主義共和国首相 来日、安倍首相と会談
- ◆ 2017年 安倍首相、今上天皇・皇后ベトナム訪問